

中小企業景気動向調査（県西地区版）

令和6年4～6月期実績と令和6年7月～9月期見通し
 ≪特別調査≫中小企業における災害等への対応について

前期（令和6年 1月～令和6年 3月期 実績）
 今期（令和6年 4月～令和6年 6月期 実績）
 来期（令和6年 7月～令和6年 9月期 予想）

調査方法

調査日 令和6年6月上旬
 調査地域 小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡、足柄下郡、中郡
 全調査先数 当庫取引先318社
 調査対象 当庫取引先309社
 （製造業27.2%、卸売業11.3%、小売業16.2%、サービス業18.8%、建設業18.4%、不動産業8.1%）
 有効回答率 97.2%
 分析方法 各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（DI・判断指数）を中心にして分析を行いました。

業種別業況天気図（県西地区）

	令和5年 4月～6月	令和5年 7月～9月	令和5年 10月～12月	前期 令和6年 1月～3月	今期 令和6年 4月～6月	来期見通し 令和6年 7月～9月
総 合					↓	↑
製 造 業					↑	↑
卸 売 業					↓	↑
小 売 業					↓	↑
サービス業					↑	↑
建 設 業					↓	↑
不 動 産 業					↓	↑

好調 ← → 低調
 改善 ↑ 横這い → 悪化 ↓

業況DIは悪化、売上DIは大幅に改善、収益DIは改善

業況DI



前期比4.0ポイント悪化の▲14.0となり、前回調査時の今期予想DIである▲5.0を下回り、前年同期DIの▲5.4も下回りました。
業種別では製造業、サービス業は改善、卸売業、小売業、建設業、不動産業は悪化となりました。
また、来期については、9.1ポイント改善の▲4.9となる見通しです。

売上DI



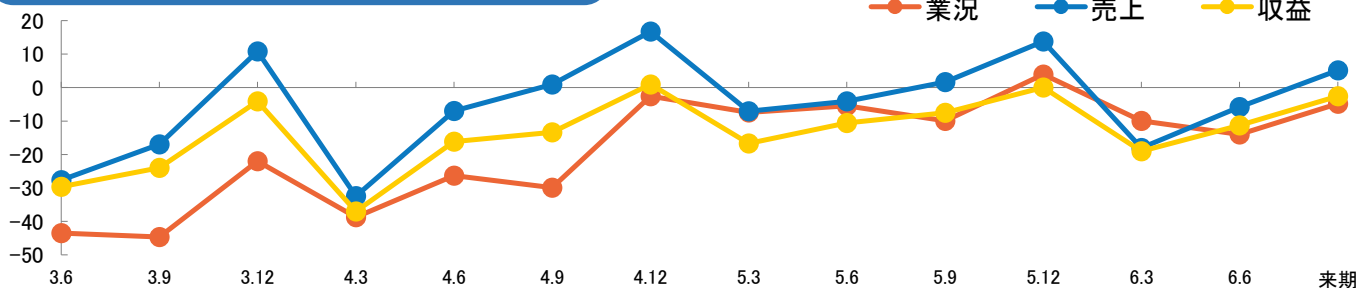
前期比12.2ポイント改善の▲5.8となり、前回調査時の今期予想DIである5.6を下回り、前年同期DIの▲4.2も下回りました。
業種別では製造業、卸売業、サービス業、不動産業で改善、小売業、建設業で悪化となりました。
また、来期については、11.0ポイント改善の5.2となる見通しです。

収益DI



前期比7.7ポイント改善の▲11.3となり、前回調査時の今期予想DIである▲4.3を下回り、前年同期DIの▲10.5も下回りました。
業種別では製造業、卸売業、サービス業は改善、小売業、建設業、不動産業は悪化となりました。
また、来期については、8.7ポイント改善の▲2.6となる見通しです。

総合 業況・売上・収益DIの推移



地区別のDI

DI推移

業況DIは小田原中央地区では改善、それ以外の地区では悪化となりました。また、売上DIはすべての地区で改善、収益DIは小田原川東・中郡地区では悪化、それ以外の地区では改善となりました。

なお、来期の業況DIについては、すべての地区で改善となる見通しです。

営業店のコメント

小田原中央地区

- 全体的に販売価格の見直し要請は奏功している様子であり、事業規模が大きくなるにつれ利益率は改善している様子が見られる。
- 原材料価格の高騰が続いており、利幅の縮小が経営課題となっている。

小田原川東・中郡地区

- 販売価格への転嫁は概ね果たせているが、人件費・原材料の高騰が転嫁分を上回り、収益性を圧迫している。
- 人材不足が深刻化しており、省人化・効率化のための設備更新に意欲的な事業者もあった。

足柄上郡・秦野地区

- 人材不足や物価高の影響により原価や固定費を圧迫している企業が多く、資金繰りは繁忙である。
- 業種問わず、足許の業績が低調な事業者が多く、かつ収益性は厳しさを増している状況である。

足柄下郡地区

- 観光客の回復から、総じて売上は回復基調にあり、コロナ前以上の売上高で推移している事業者もいる。
- 高価格帯の旅館では、改装と同時に価格の引き上げを行っているところもあり、稼働率は変わらなくても売上の増加につながっている。

業況DI・地区別推移

地区	6.3	6.6	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 9.2	▲ 8.7	0.6	0.0	8.7
小田原川東・中郡	▲ 6.0	▲ 24.0	▲ 18.0	▲ 16.0	8.0
足柄上郡・秦野	▲ 22.4	▲ 25.3	▲ 2.9	▲ 19.8	5.5
足柄下郡	6.4	2.1	▲ 4.3	14.6	12.5

売上DI・地区別推移

地区	6.3	6.6	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 13.2	▲ 3.9	9.3	6.3	10.2
小田原川東・中郡	▲ 28.8	▲ 14.0	14.8	6.0	20.0
足柄上郡・秦野	▲ 20.0	▲ 9.5	10.5	▲ 9.5	0.0
足柄下郡	▲ 14.9	4.2	19.1	27.1	22.9

収益DI・地区別推移

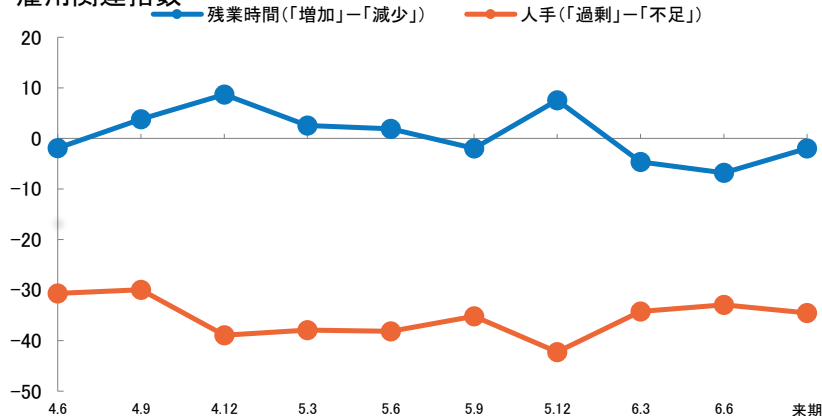
地区	6.3	6.6	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 16.5	▲ 8.7	7.9	0.8	9.4
小田原川東・中郡	▲ 15.4	▲ 16.0	▲ 0.6	▲ 6.0	10.0
足柄上郡・秦野	▲ 21.2	▲ 14.3	6.9	▲ 15.5	▲ 1.2
足柄下郡	▲ 25.5	▲ 8.3	17.2	14.6	22.9

雇 用

残業時間DIは前期比2.2ポイント低下の▲6.8となり、人手DIは前期比1.3ポイント上昇の▲32.9となりました。残業時間は減少し、人手不足感は弱まりました。

なお、来期については残業時間DIは4.9ポイント上昇の▲1.9となり、人手DIは1.6ポイント低下の▲34.5となる見通しであり、残業時間は増加し、人手不足感は強まる見通しです。

雇用関連指数

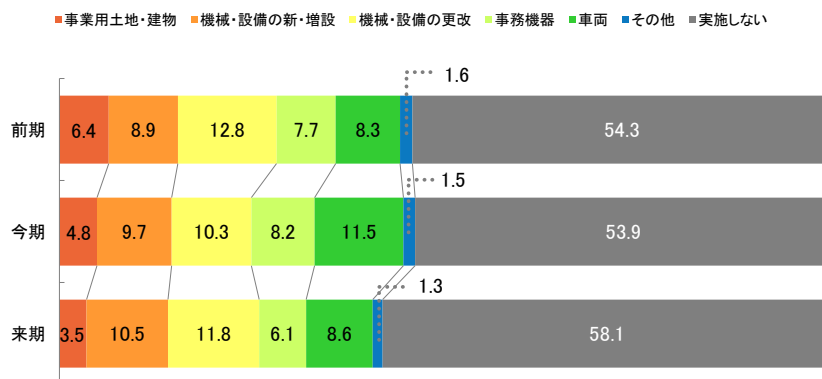


設備投資

今期の設備投資の実施状況については、「機械・設備の新・増設」・「事務機器」・「車両」は増加した一方で「事業用土地・建物」・「機械・設備の更改」・「その他」は減少となりました。なお、「実施しない」は減少し、設備投資意欲は上昇しました。

来期の設備投資の実施予定については、「機械・設備の新・増設」・「機械・設備の更改」は増加となる一方で、「事業用土地・建物」・「事務機器」・「車両」・「その他」は減少する見通しです。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下する見通しです。

設備投資の実施状況(複数回答、単位: %)

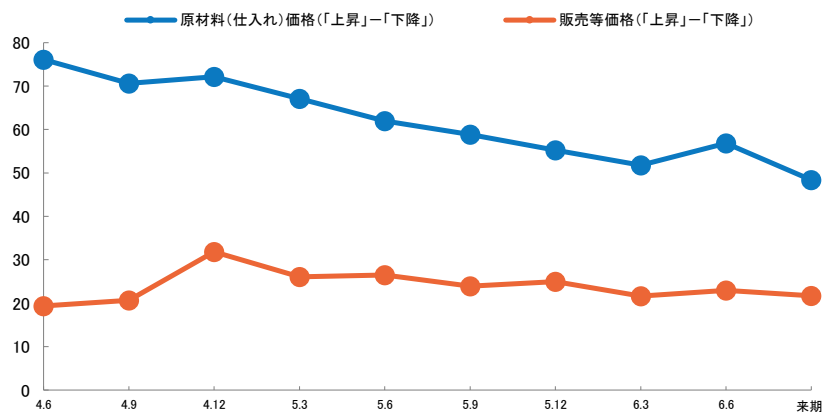


販売・仕入価格

販売等価格DIは前期比1.4ポイント上昇の23.0となり、原材料(仕入れ)価格DIは前期比5.0ポイント上昇の56.8となりました。

なお、来期については、販売等価格DIは1.3ポイント低下の21.7となり、原材料(仕入れ)価格DIは8.4ポイント低下の48.4となる見通しです。

価格関連指標

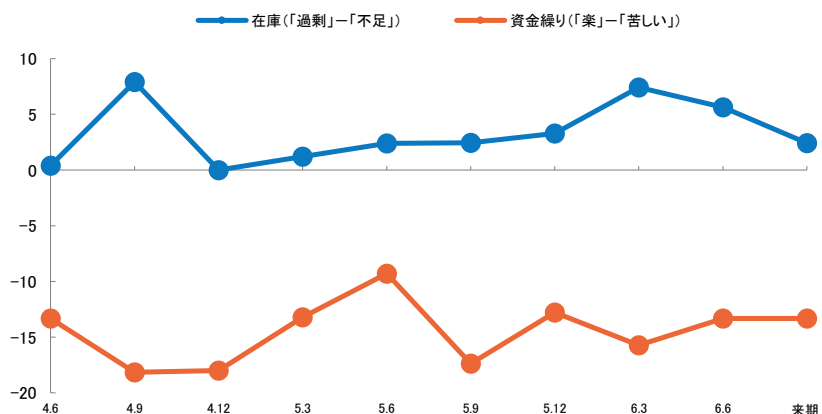


在庫・資金繰り

在庫DIは前期比1.8ポイント低下の5.6となり、資金繰りDIは前期比2.4ポイント上昇の▲13.3となりました。

なお、来期については、在庫DIは前期比3.2ポイント低下の2.4となり、資金繰りDIは横這いの▲13.3となる見通しです。

在庫・資金繰り指標



好調←



→低調

改善



横這い



悪化

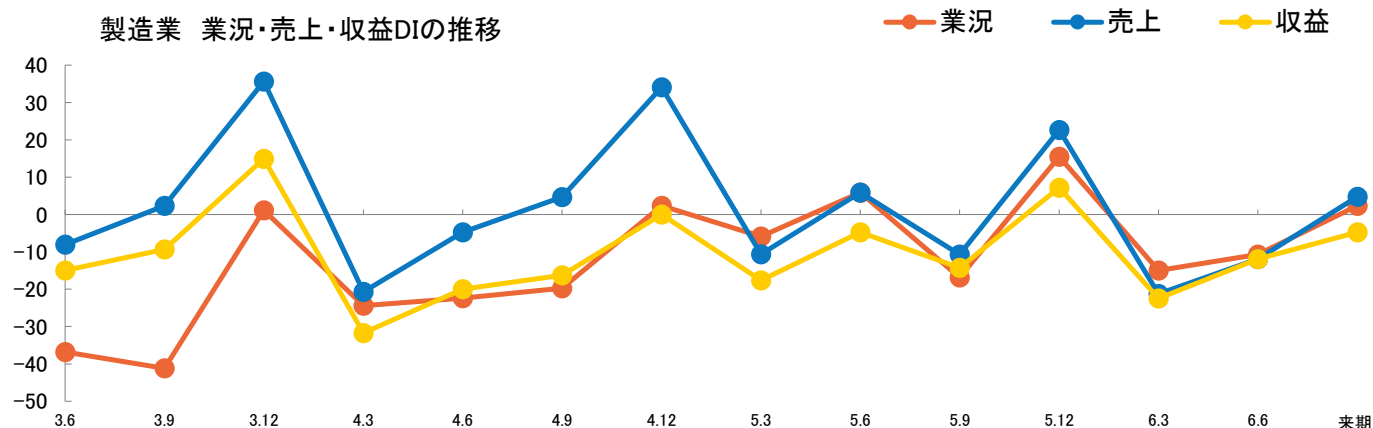


製造業

景況

業況DI・売上DIはそれぞれ改善、収益DIは大幅に改善

業況DIは、前期比4.3ポイント改善の▲10.7となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲3.8を下回り、前年同期D Iの5.9も下回りました。来期については13.1ポイント改善の2.4となる見通しです。

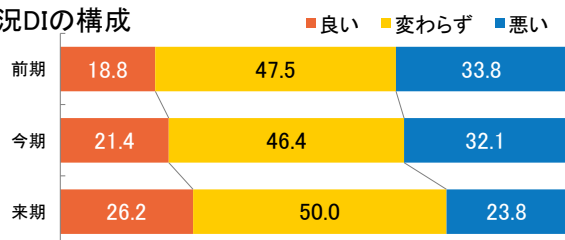


業況・売上・収益DI

業況DI



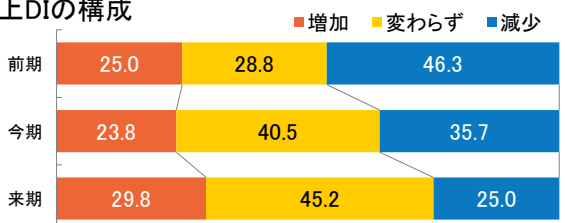
業況DIの構成



売上DI



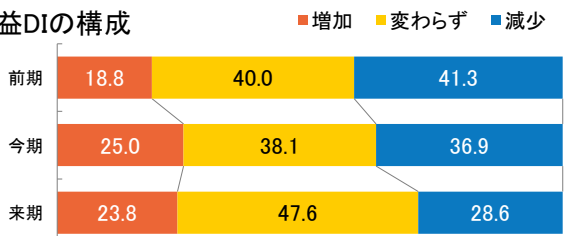
売上DIの構成



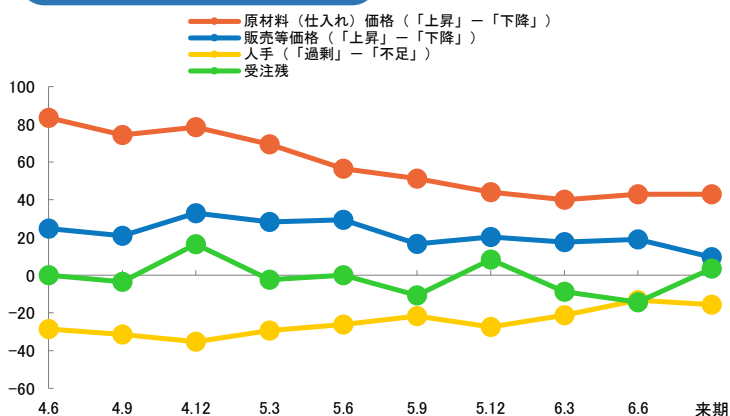
収益DI



収益DIの構成

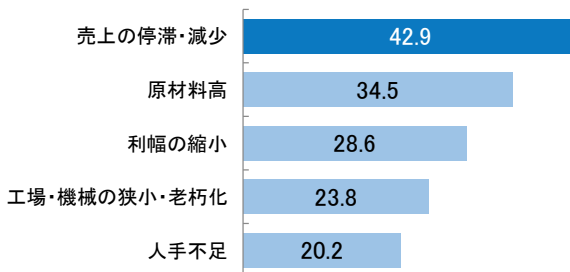


その他の指標推移



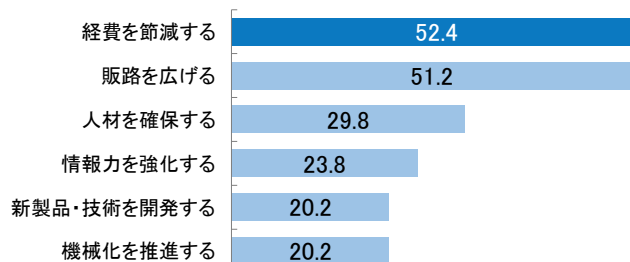
経営上の問題点

（複数回答、単位：%）



当面の重点経営施策

（複数回答、単位：%）

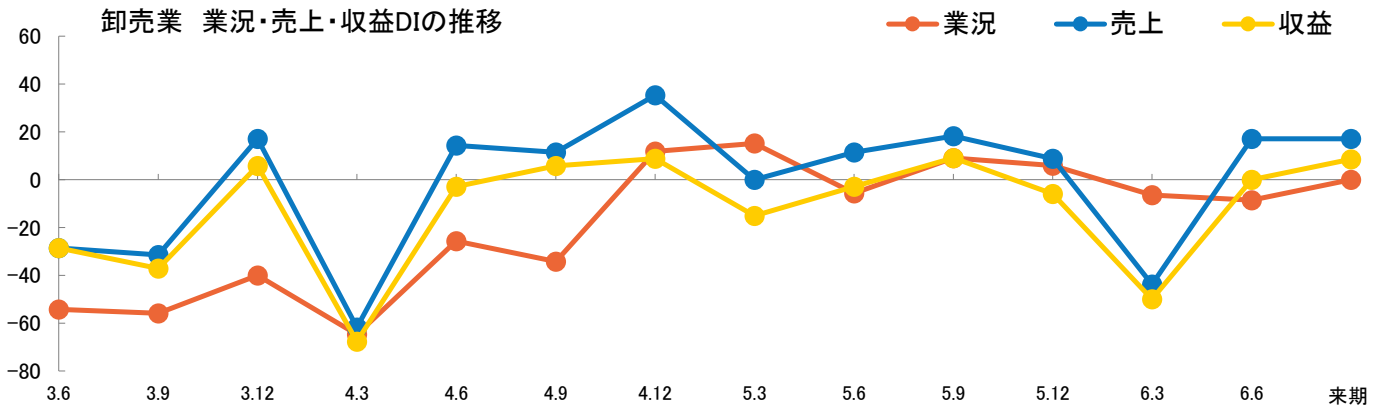


卸 売 業

景 況

業況DIはやや悪化、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比2.1ポイント悪化の▲8.6となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである12.9を下回り、前年同期DIの▲5.7も下回りました。来期については、8.6ポイント改善の0.0となる見通しです。

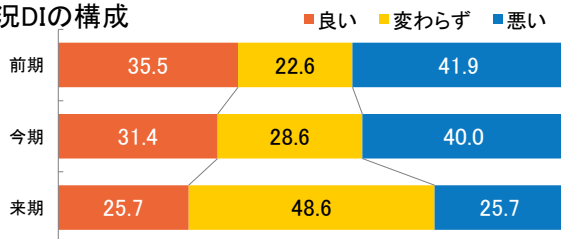


業況・売上・収益DI

業況DI



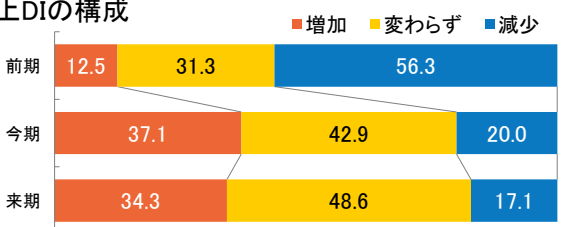
業況DIの構成



売上DI



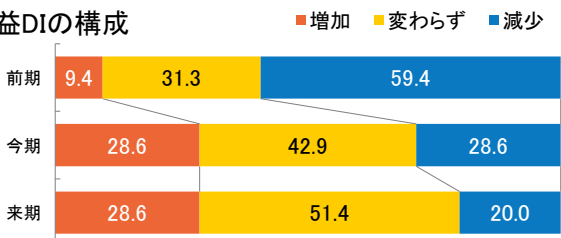
売上DIの構成



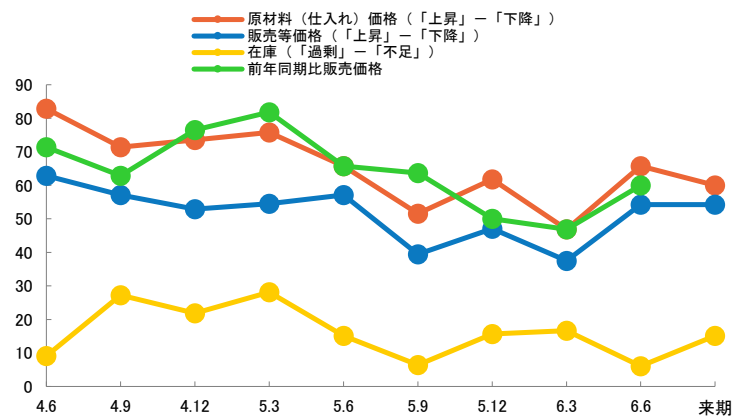
収益DI



収益DIの構成

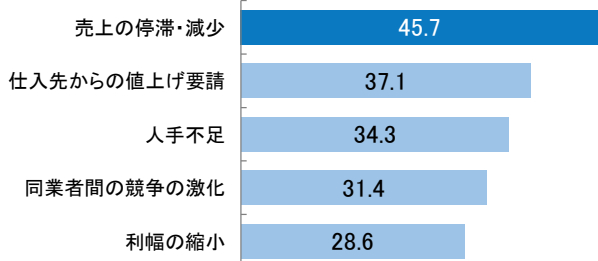


その他の指標推移



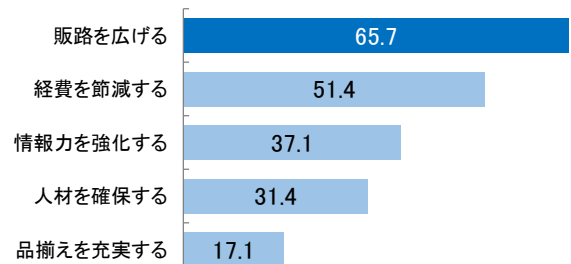
経営上の問題点

（複数回答、単位：%）



当面の重点経営施策

（複数回答、単位：%）



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



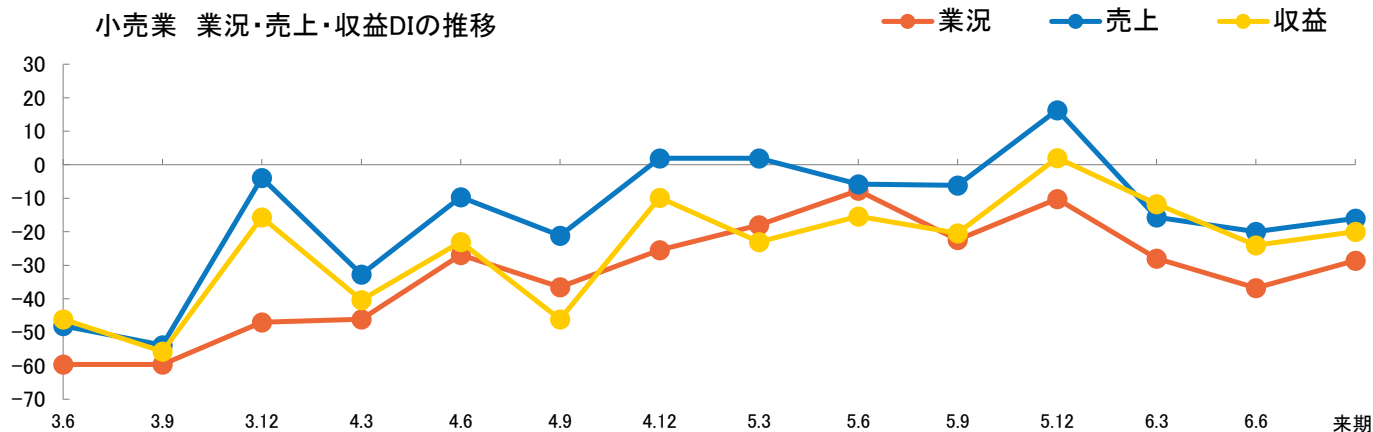
小 売 業

景 況

業況DI・売上DIはそれぞれ悪化、収益DIは大幅に悪化

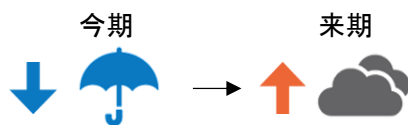
業況DIは、前期比8.7ポイント悪化の▲36.7となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲18.0を下回り、前年同期DIの▲7.7も下回りました。来期については、8.1ポイント改善の▲28.6となる見通しです。

小売業 業況・売上・収益DIの推移

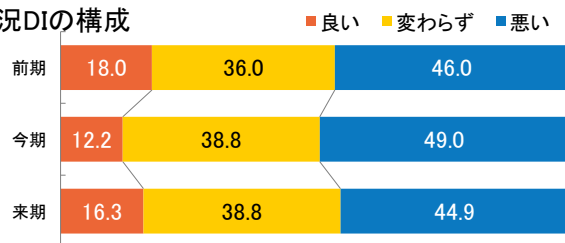


業況・売上・収益DI

業況DI



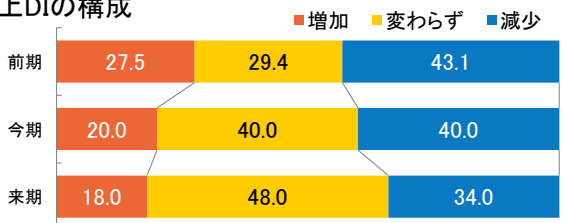
業況DIの構成



売上DI



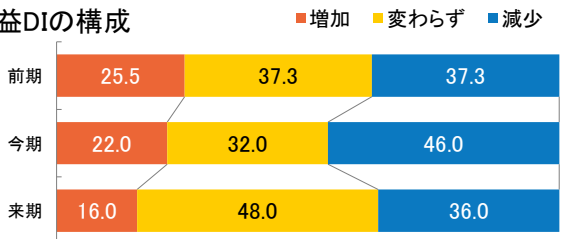
売上DIの構成



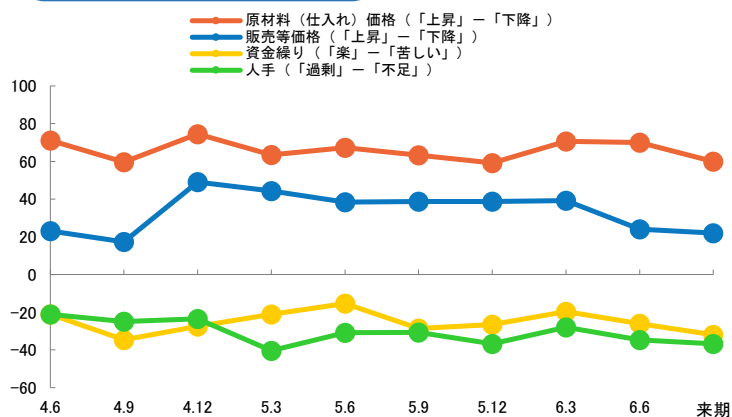
収益DI



収益DIの構成

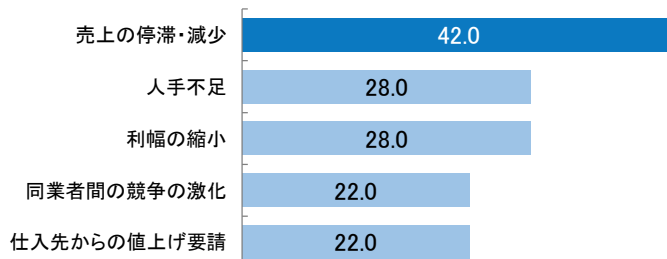


その他の指標推移



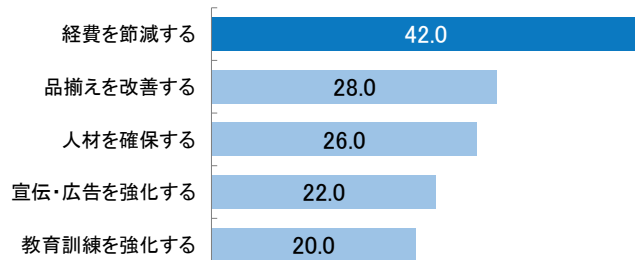
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



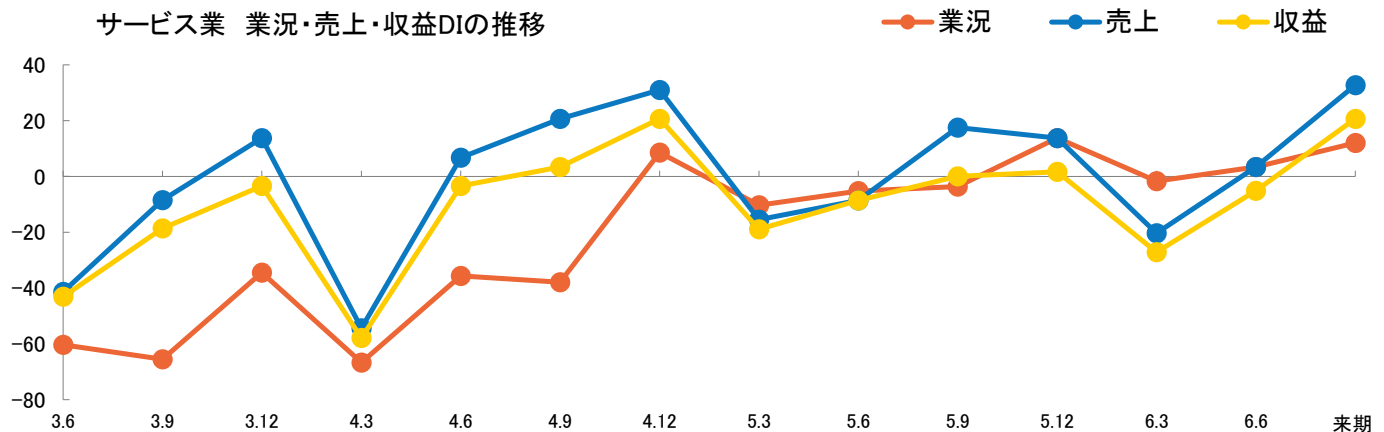
サービス業

景況

業況DIは改善、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比5.1ポイント改善の3.4となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである6.8を下回りましたが、前年同期DIの▲5.3を上回りました。来期については、8.7ポイント改善の12.1となる見通しです。

サービス業 業況・売上・収益DIの推移

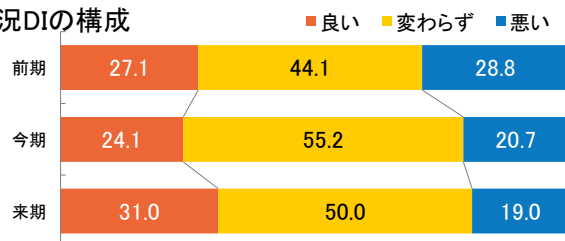


業況・売上・収益DI

業況DI



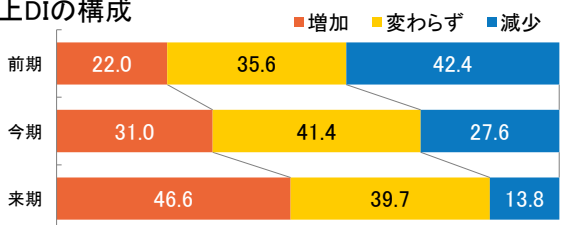
業況DIの構成



売上DI



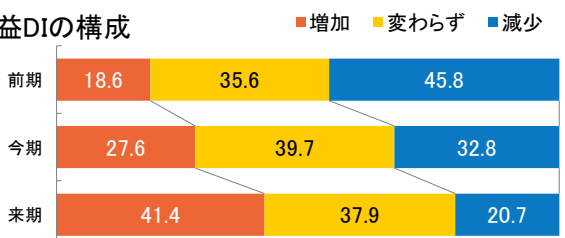
売上DIの構成



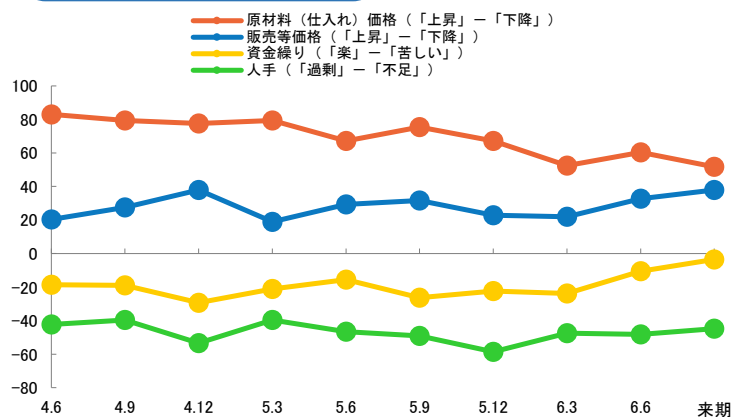
収益DI



収益DIの構成

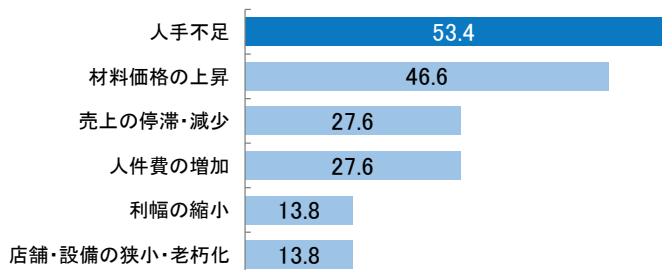


その他の指標推移



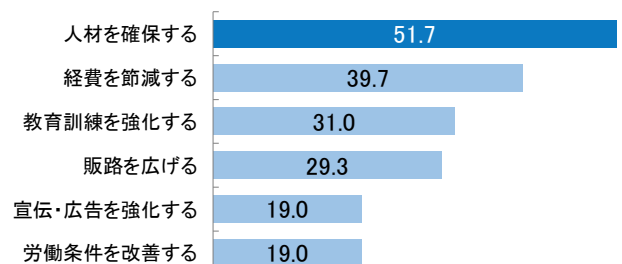
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



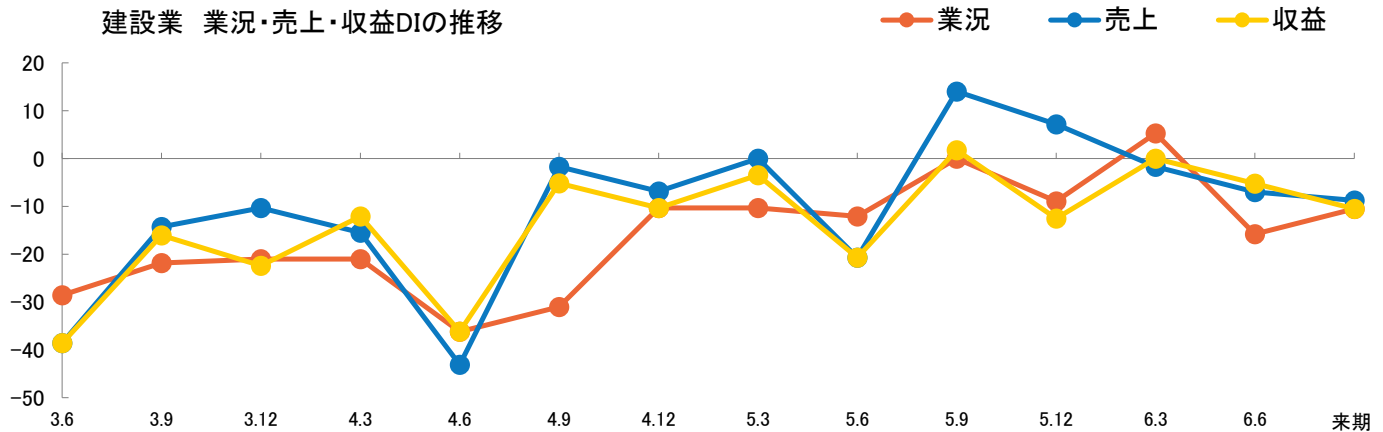
建設業

景況

業況DIは大幅に悪化、売上DI・収益DIはそれぞれ悪化

業況DIは、前期比21.1ポイント悪化の▲15.8となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲10.5を下回り、前年同期DIの▲12.1も下回りました。来期については、5.3ポイント改善の▲10.5となる見通しです。

建設業 業況・売上・収益DIの推移

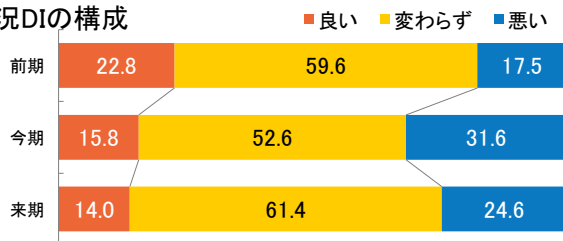


業況・売上・収益DI

業況DI



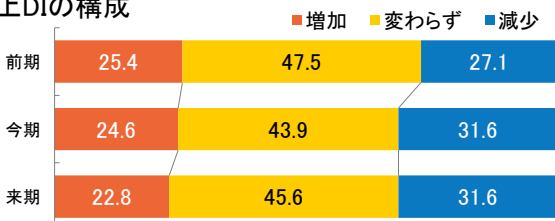
業況DIの構成



売上DI



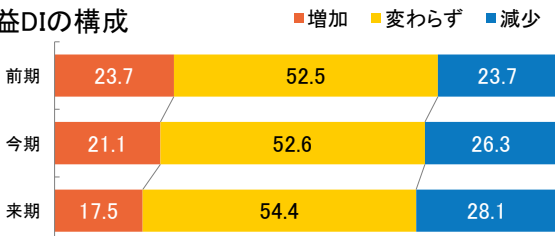
売上DIの構成



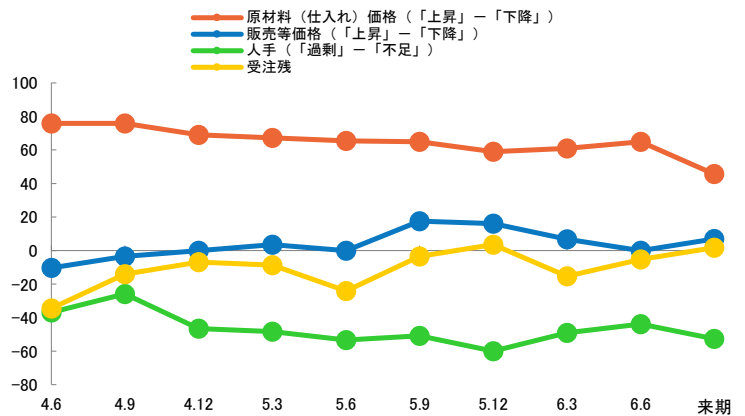
収益DI



収益DIの構成

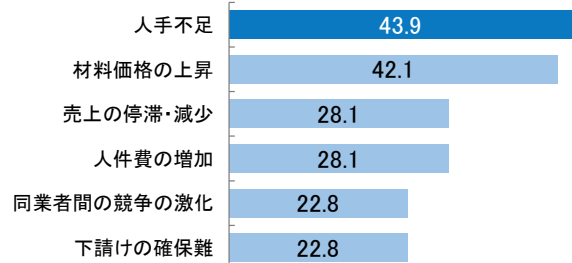


その他の指標推移



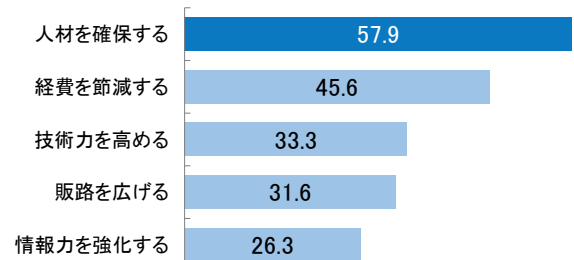
経営上の問題点

(複数回答、単位: %)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位: %)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



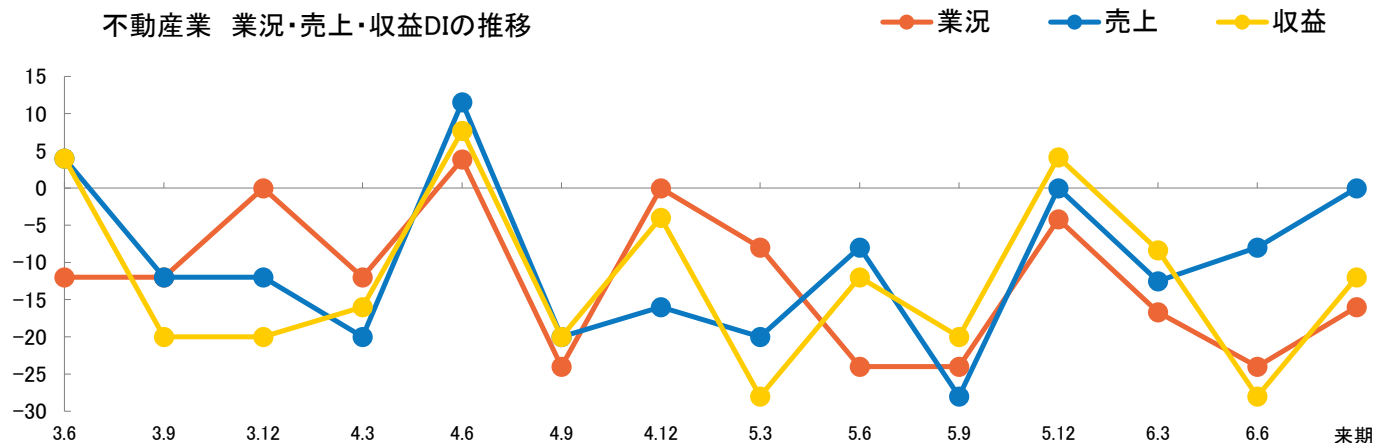
不動産業

景況

業況DIは悪化、売上DIは改善、収益DIは大幅に悪化

業況DIは、前期比7.3ポイント悪化の▲24.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲20.8を下回り、前年同期DIである▲24.0に対し横這いになりました。来期については、8.0ポイント改善の▲16.0となる見通しです。

不動産業 業況・売上・収益DIの推移

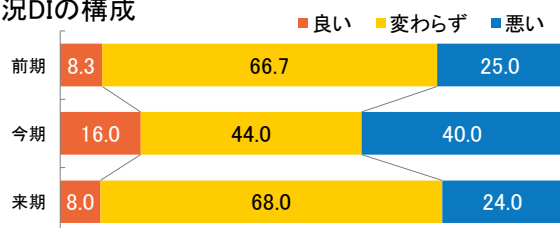


業況・売上・収益DI

業況DI



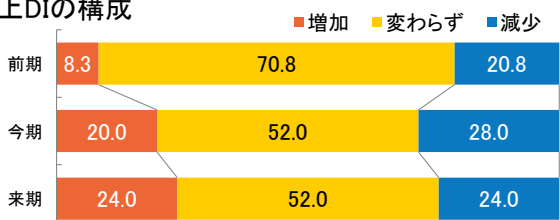
業況DIの構成



売上DI



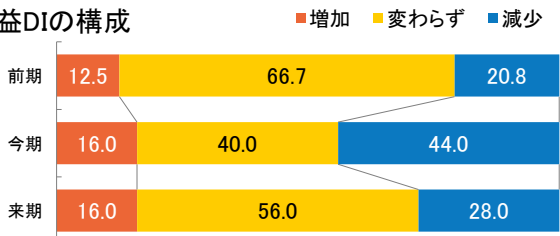
売上DIの構成



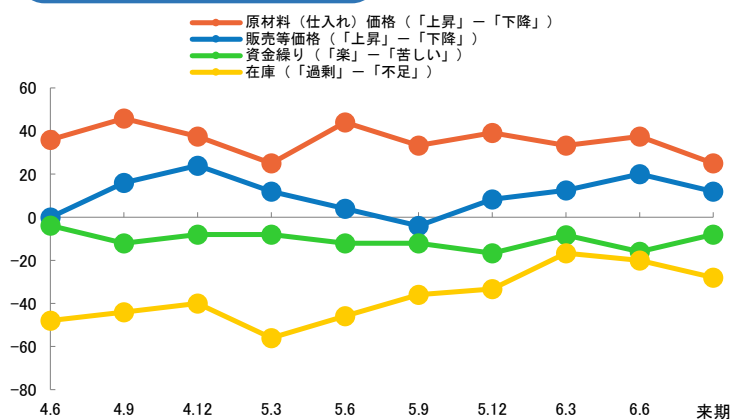
収益DI



収益DIの構成

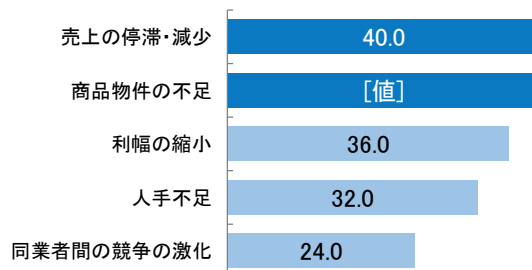


その他の指標推移



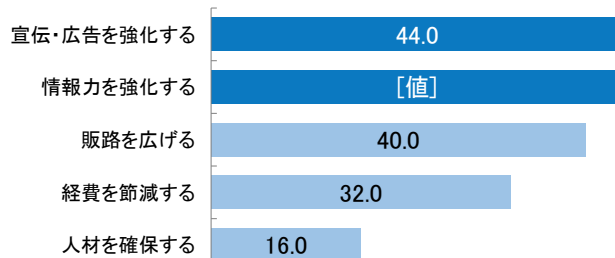
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善

横這い

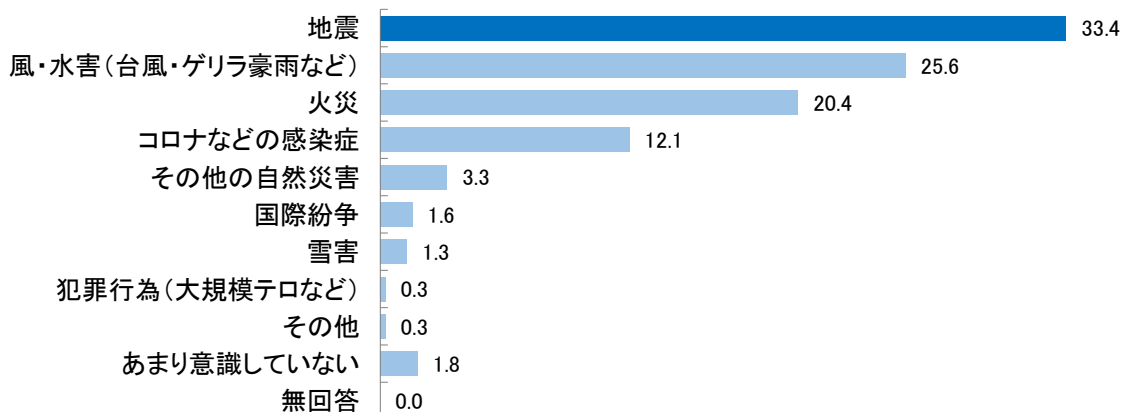
悪化



問1

貴社では、普段どのような災害を意識していますか。(最大3つ回答)

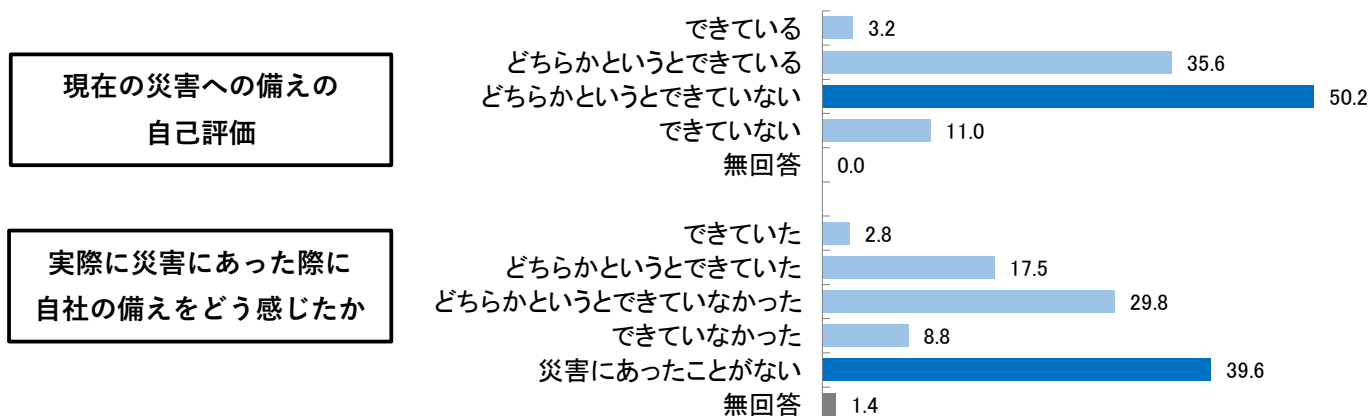
(単位: %)



問2

貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えにどう感じましたか。

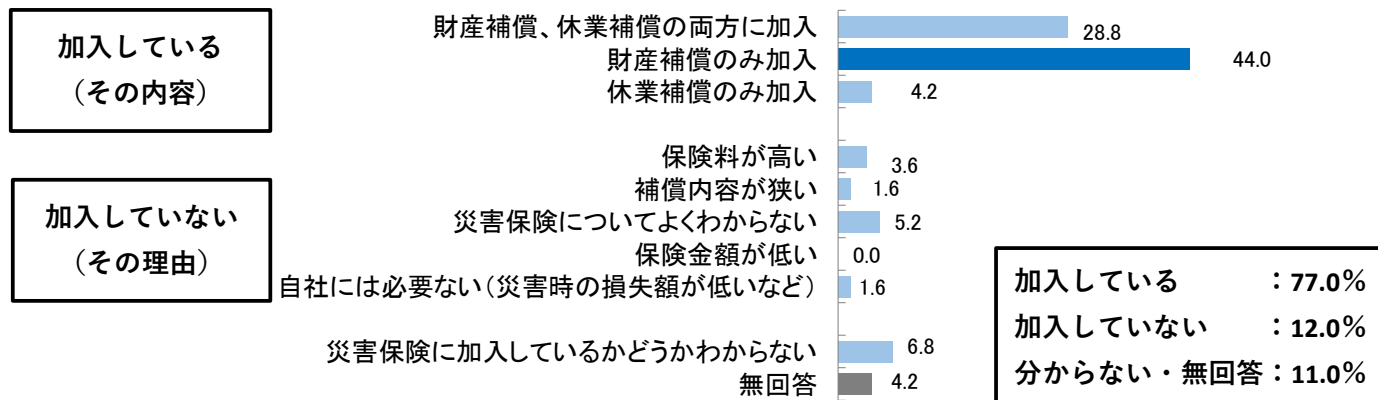
(単位: %)



問3

貴社では、事業継続にかかる保険、具体的には財産補償(設備や店舗が損壊したときの補償)や休業補償(休業を余儀なくされた時の損害の補償)に加入されていますか。

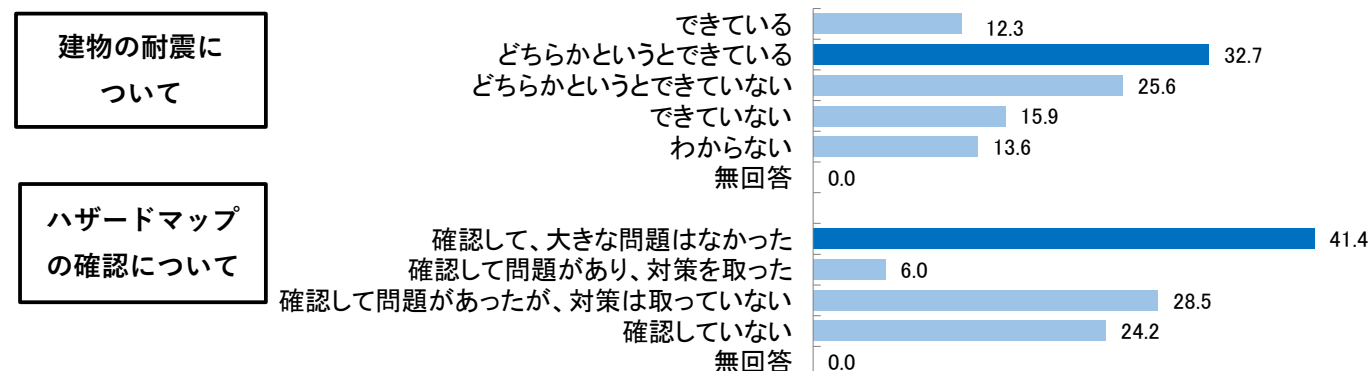
(単位: %)



問4

貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。また、自社所在地周辺のハザードマップ(洪水や土砂災害、地震・津波など)を確認していますか。

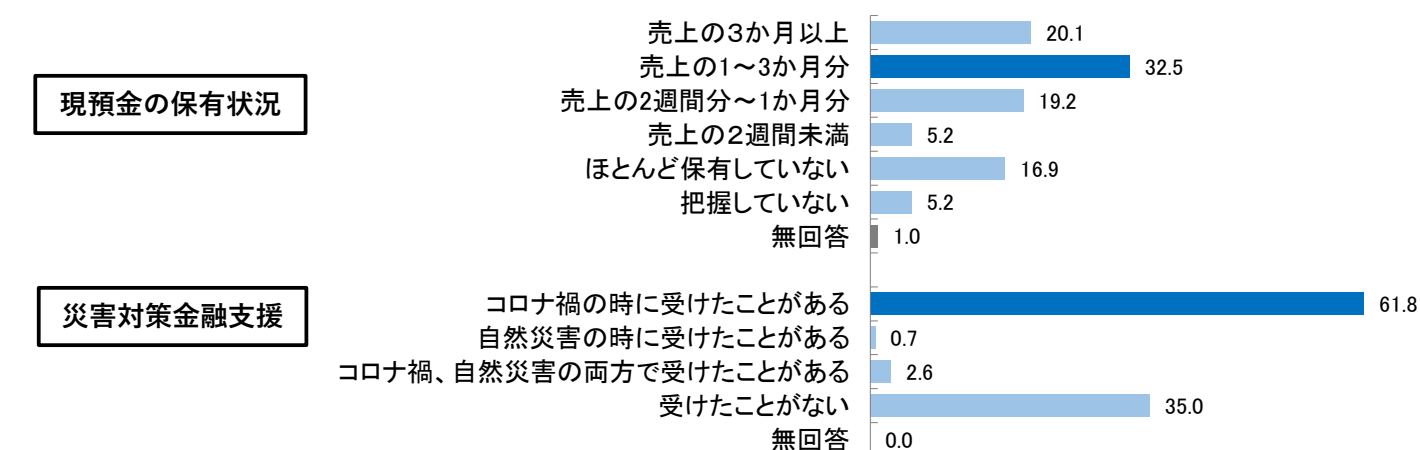
(単位: %)



問5

災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期を想定したうえで教えてください。また、貴社では、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援を受けたことがありますか。

(単位: %)



特別調査に関する営業店のコメント

- 大規模な工場施設を有している事業者においては耐震やBCPへの対応を行っている。一方で、取引先の大勢を占める中小零細企業においては、ハザードマップの確認を行っているものの、耐震基準への対応などは遅れている状況が見られる。
- 地域柄、地震や火災、台風の備えについては概ね認識している事業者が多く見受けられたが、万全な対策が出来ている先は少ない。
- BCP(事業継続計画)を策定している企業はほぼなく、特に事業規模が小さくなるにつれBCPの言葉の意味の理解が進んでいないというのが実態である。
- 旅館業等の装置産業は建物に対する投資や備えが行えている印象だが、現預金の保有状況は企業によりばらつきがある。

あなたのオフィスで
お金のプロになんでも相談&解決!



お金が
貯まらない…

「NISA」「iDeCo」
って何?



安心して
生活できるお金って
一体いくら?

家を買いたい!
いくら借りられる?



さがみ信用金庫の

お金の相談会

お金の心配ごとをプロに相談しませんか?
知っておくと助かる お金の勉強をはじめましょう!

わかりやすく
お伝えします

＼ どんなご相談も歓迎! 最適なアドバイスをご提供／



- | | |
|---|---|
| ☒ 将来に向けてお金の運用を始めたい | ☒ ライフプランニング |
| ☒ マイホームやマイカーを購入したい | ☒ 教育資金について |
| ☒ ケガや病気など不測の事態に備えたい | ☒ 将来の年金について |

お取引店舗または営業担当者までご相談ください

さがみ信用金庫

総合企画部

TEL : 0465-24-3162

E-mail : souki@sagami-shinkin.co.jp

「要約版」およびバックナンバーは当金庫ホームページをご覧ください

さがみ信用金庫 景気動向調査

検索

さがみ信用金庫ホームページ

URL : <https://www.shinkin.co.jp/sagami/about/keikidoukou.shtml>

